

## 【解説文】

県では、従業員の目線に立った「働きやすさの追求」と業務プロセスの見直し等を通じた「生産性向上の取組」により、労働力確保と企業の成長を実現する「働いてもらい方改革」を推進しています。今回はこの「働いてもらい方改革」に関する様々な取組について、お知らせします。

まずは、優良事例集の第五弾がまとまりましたので、発表します。

第四弾までに紹介した事例では、女性の働きやすさに注目した事例が 多数ありましたが、今回の第五弾では、女性が経営者や役員など組織のトップとして活躍する事例や、これまで男性中心だった業界で女性が活躍することで業績を伸ばした事例、さらに、女性目線での職場改革が男性の育休取得などの男性の働きやすさにもつながった事例などを紹介しています。

代表的な事例を紹介すると、機械設計製作を行う（株）共栄製作所（高山市）では、従業員の事情に応じた柔軟な働き方を認め、在宅勤務なども組み合わせることで、技術職未経験の女性を中核人材に育成し、業績を向上させました。

また、シリコン素材加工販売を行う（株）タナック（岐阜市）では、テレワークを活用し、子育て中の女性などフルタイム以外の働き方を希望する社外人材と共同で企画開発を行うことで、売上を大きく伸ばしました。

また今回は、これまでに紹介してきた合計 50 社の優良事例から見えた「働いてもらい方改革」のポイントや、取組の進め方などをまとめましたので、併せて発表します。

「働いてもらい方改革」に取り組みたいと考える経営者の皆様が、具体的に何から始め、どのように進めていけば良いか、各企業の課題に応じた具体的な解決策もまとめているので、ぜひ活用ください。

さらに、「働いてもらい方改革」の導入に向けてより深く学ぶことができる機会として、企業経営者の皆様に向けた 2 つのイベントを開催しますので、併せてお知らせします。

1 つ目は、「働いてもらい方改革」に関心のある経営者の皆さんが、業種の垣根を超えて取組を進めるヒントを得ていただくために、「異業種・企業交流会」を開催します。

岐阜、飛騨の2会場で開催を予定しており、各会場とも、第一部では「働いてもらい方改革」優良事例集に掲載の企業経営者から取組に関するエピソードを語っていただき、第二部では、参加企業を異なる業種で組み合わせ、自社でどのように「働いてもらい方改革」を取り入れていくのかなどをグループごとに意見交換を行い、実践に向けた足掛かりとなることを目指していきます。

2つ目は、「働いてもらい方改革」の重要なキーワードとなる「生産性向上」の手法の一つである業務細分化や最適化の具体的なノウハウを学んでいただく場として、「業務細分化・最適化シンポジウム」を開催します。

優良事例集で紹介している製造業の企業経営者3名もお招きし、業務の「見える化」、切り出し、標準化などの具体的な取組についてお話しいただきます。

いずれも「働いてもらい方改革」に実際に取り組み、成果を上げている企業経営者から直接話を聞いたり、企業同士で情報交換ができる貴重な機会ですので、ぜひご参加をいただければと思います。